

DCP CONNECTOR

S708接続用

この度は弊社製品<DCPコネクタ>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品は当社製品S708を取り付ける為のハーネスキットです。また端子差し替えによりシフトパターンの変更も可能です。(UP-DOWN位置の変更)

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

お願い! 本製品は性能向上他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさせて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

【取り付け方法】

<取り付け作業の前に>

- 取り付け作業には配線の接続の為に**サーキットテスター、圧着ペンチ、ビニールテープ**等が必要です。
- ハーネス類は運転の障害にならぬようにまとめて本体を固定して下さい。
- 取り付け作業は**キースイッチを抜いてから数分間はおこなわないで下さい。**(完全に電源がOFFになるまで)
 - キースイッチを抜いても数分間電源がOFFにならない車両がある為(一部車両は3~12分間)
 - 電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』してしまうことがあります。
- 取り付け作業は**バッテリーをはずさず**におこなって下さい→バッテリーをはずした場合は(アイドリング学習)が必要な場合があります。
- ECU制御に関わる部分です。接続位置、接触には慎重に作業をおこなって下さい。



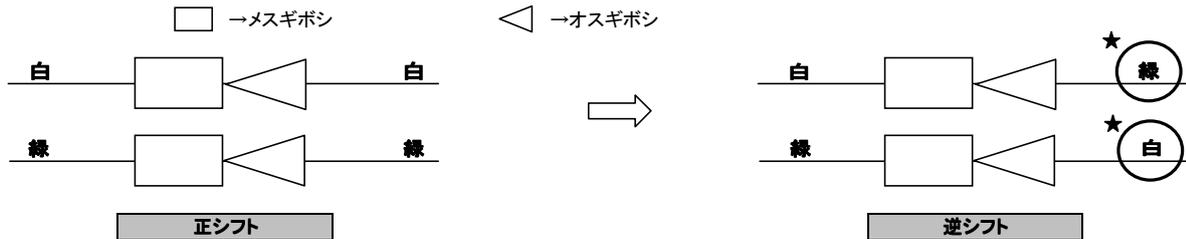
注意

<シフトパターンを変更しない場合>

- 下記の<取り付け作業>にて、取り付けをおこなって下さい。

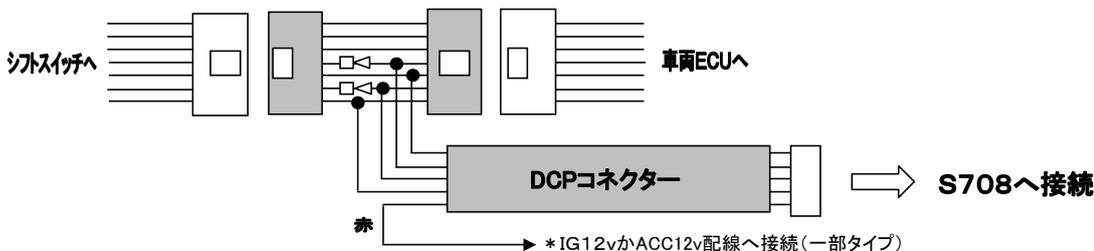
<シフトパターンを変更する場合>

- シフトパターンを変更する場合は下図を参考にDCPコネクタの配線の差し替えをおこなって下さい。
- 白-白 緑-緑 の接続を 白-緑 緑-白 の接続へ変更 (★印)
- 必ず付属の(+)(-)をシフトポジション表示に貼り、シフトパターンの変更がわかる状態にして下さい。

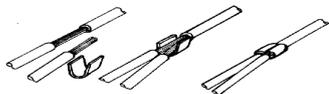


<取り付け作業>

- ① S708の適合表を参考に、装着するカブラー位置を確認して下さい。
- ② 車両のインストルメントパネル、コンソールパネル等をはずし、DCPコネクタと同形状のカブラーを確認して下さい。
 - DCP-F1のカブラーは近くに同形状の色違い(乳白色)のカブラーがありますが、必ず**黒色のカブラーへ接続**して下さい。
- ③ 車両のシフトカブラーを抜き、DCPコネクタを差し込みます。
 - DCPコネクタより赤色線が出ているタイプは、赤色線を**IG12v線**もしくは**ACC12v線**へ接続して下さい。(常時12vは不可)
 - * ACC12v線へ接続した場合は、エンジンスタート時にS708のオープニングデモンストレーションが始まってしまいますが、異常ではありません。
- ④ 配線がシフトレバー等に接触しないようにまとめて下さい。
- ⑤ S708本体を装着して下さい。(S708説明書参照)



参考/スプライスの使用方法



- * 配線の適当な場所の被服を5mm程度むきます。
- * 赤色の配線の先を10mm程度被服をむき、車両配線へ巻きつけます。
- * スプライスを接合部にあて、圧着ペンチでかします。
- * ビニールテープにて接合部を絶縁します。